

伊藤正・貞子

絵画展



「娘の像」1976年
伊藤 正

伊藤正(1915年～1989年)は、戦後間もない頃の道展再建に尽力し、さらに学校教育の現場においても活躍した北海道を代表する画家の一人です。生涯にわたり写実の世界を追求し続け、愛する家族や身近な風景、幾度か滞在したフランスの街並などを描いた作品を数多く遺しています。故郷札幌では道展(1971年退会)、中央では日展や一水会に出品し数々の賞を受けるなど華々しく活躍しました。

彼の妻である伊藤貞子(1922年～1966年)も夫を支えながら自らも道展や一水会において入賞するなど活躍しましたが、ガン性腹膜炎のため43歳という若さで生涯を終えました。

ともに画家として、お互いを高めあって生きた夫妻の作品を、この機会にぜひご覧ください。

2017年

7月21日(金)～30日(日)
10:00～17:00

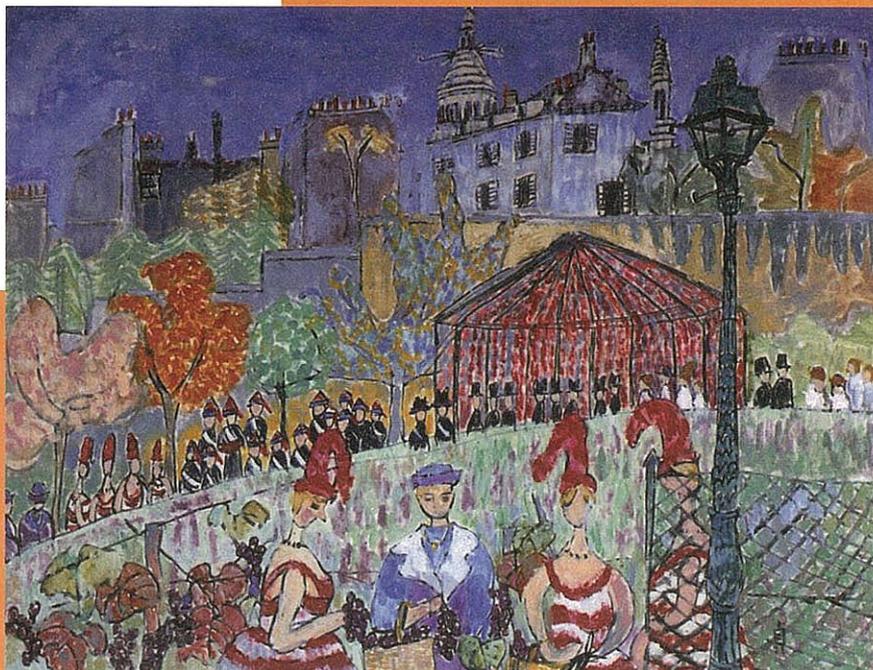
【会場】

くりやまカルチャープラザ「Eki」
2階町民ギャラリー
栗山町中央2丁目1番地(JR栗山駅直結)
TEL 0123-73-3333

【主催】

栗山町教育委員会 TEL 0123-72-1117

入場無料



「モンマルトルのぶどう祭」1963年
伊藤 貞子

伊藤 正・貞子 絵画展

展示予定作品

【伊藤 正】

作品名	制作年	技法・材料	寸法 (cm)
・ 自画像	1975年	油彩・キャンバス	43×36
・ 仏像	1951年	コ ン テ	37×26.5
・ 標	1967年	油彩・キャンバス	98×53
・ シンガポール	1962年	水彩・色紙	26.5×24
・ 夏苑	1949年	油彩・キャンバス	71×89.5
・ 夏衣の少女	1952年	油彩・キャンバス	89.5×59
・ 娘の像	1976年	油彩・キャンバス	144×110
・ アヴェ・マリア通りの家	1963年	油彩・キャンバス	90×72
・ ある風景	不 詳	油彩・キャンバス	59×71
・ ヴォージュ広場の家	1963年	油彩・キャンバス	71.5×89
・ ノートル・ダム・ド・パリ	1962年	油彩・キャンバス	89.5×71
・ 椅子の上の人形	不 詳	油彩・キャンバス	52×46
・ ピサの斜塔	1962年	水彩・色紙	26×23
・ ムーランド・ラ・ギャレット	1962年	水彩・色紙	26.5×24

【伊藤 貞子】

作品名	制作年	技法・材料	寸法 (cm)
・ モンマルトルのぶどう祭	1963年	油彩・キャンバス	90×115
・ マリア院(祈り)	1954年	油彩・キャンバス	115×89